学校番号	3030

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「公共」（数研出版）						
副教材等	最新図説 公共 （浜島書店）・最新倫理資料集テオーリア(第一出版社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の公共では、１年次に学習した政治分野から進めて、公共的な空間をつくる私たち・公共的な空間における人間としてのあり方生き方という、倫理分野を中心に学習する。今まで以上に「公共」と関わる分野に興味・関心を持ち、日本や世界の現状や課題に目を向け、自分の意見をまとめ、表現できるように心がける。定期考査前後や長期休暇中には、課題も課すので、授業中に新たに学んだことや、課題のヒントになることを自主的に書き留めていこう。自ら学ぶ姿勢をもって授業に臨むこと。

2　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1)現代の諸課題や先哲の思想をとらえ考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、実際に様々な資料を用い、課題の解決に必要かつより客観的な資料を効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。

(2)現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断する力も視野に入れながら、構想力を養う。その際、他者の意見を尊重し、様々な立場に立って物事を判断する態度も身につけるようにする。

(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を高め、公共を担う公民としての資質を深めるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	公共に関わる様々な文献、メディアなどの情報、教科書や資料集などの教材を用い、公共的な空間をつくる私たち・公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての知識を身につけ、正確かつ有用な情報を適切に選択し、効果的に活用する技能を身につけている。	公共に関わる現代の諸課題について、多角的に考察し、社会の変化も考慮に入れ、公正かつ客観的に判断して自分の意見や価値観を形成し、その意見や判断の根拠などを明確かつ適切に表現している。	公共に関わる現代の諸課題について、関心を持ち、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的な社会の実現に向けての意識を醸成する。さらには世界の平和や個人の尊重が大切であるという意識のもと、人権意識を高く持ち、自分にできることは何かを主体的に考える態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	公共的な空間について①	・青年期の特徴、心理 ・人間の特質 ・古代ギリシアの知恵 ・キリスト教の教え ・イスラームの教え	a:青年期や人間の特質、西洋古代思想に関して基本的な知識を有し、その内容について理解している。 b:様々な人間考察や思想家の内容がなぜ展開されたかを多面的に考察することができる。 c:積極的に意見を論述し、人間存在について関心を持ち、様々な資料を考察に活用しようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート 観察
	公共的な空間について②	・古代インドの思想 ・仏教の教え ・古代中国の知恵	a:　東洋古代思想に関して基本的な知識を有し、それらが展開された歴史的経緯についても理解している。 b:西洋源流思想もふまえ、東西の源流思想の共通点や相違点について思考をすることができる。 c:源流思想全体について自分なりの考えをまとめ様々な意見についても考察しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	提出ノート ワークシート 観察
後期	人間のあり方生き方①	・西洋近現代の思想 ・科学的精神のめばえ ・人間の尊厳を求めて	a:西洋近現代思想について知識を深めることができる。 b:西洋中世から近代へ移行する時代背景について意識を高め、さまざまな観点から考察することができる。 c:人間の尊厳について考察した思想家についても考えを深め、関心を持ち活用しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	提出ノート ワークシート 観察
	人間のあり方生き方②	・現代の諸課題と倫理 ・地球環境をめぐる問題 ・資源エネルギーをめぐる問題 ・生命をめぐる問題	a:倫理に関する現代の諸課題について知識を深めることができる。またそれらの現状についても理解している。 b:諸課題が自己の生活といかに関連しているかを考察することができる。 c:現代社会におけるさまざまな倫理的諸課題について、資料などを活用し、考察を深めようとしている。	定期考査	定期考査	提出ノート 観察

※　表中観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度